

すいじんやま 水神山古墳坂

古墳につづく隠れ坂

「我孫子市鳥の博物館」から手賀沼ふれあいラインを200mほど東へ行くと、2坪ほどの湧水池がある。この池を起点に農家の裏手にある坂、「水神山古墳坂」を上る。

坂道の左手20m程は坂道と農家との境に青いフェンスが続く。右手には木々が茂り、道はやや曲がって次第に狭く急な坂道になる。近年まで、水神山古墳に上る近道として、知る人ぞ知る隠れ坂であったが、現在は県下屈指の大型前方後円墳を訪ねる道として整備され歩きやすくなった。100m余程の坂道は登山道のように、茂った木々の下道は落ち葉を踏む音がして気持ちが安らぐ。上り切ると左手に高野山の鎮守、香取神社へと続き、木々の間から手賀沼が見える。

右手の住宅に沿った道を曲ると間もなく右に千葉県北西部最大を誇る前方後円墳「水神山古墳」がある。

水神山古墳は手が手賀沼の北側、標高20mほどの台地の上にあり、東京大学考古学研究室が調査。当初は5世紀後半の築造とされていたが、現在は4世紀後半に訂正された。大きさは東西に長さ63m、前部幅28m、後円部径32m、高さ5m。墳丘は3段形状で造られ、北側には周濠が設けられていて全長69mとされている。後円部から長さ5mの竹割木棺が発見され、鉄製品、玉類などが出土した。玉類は遺体に首飾りとしてかけられていたようだが、すでに遺体は分解して消失していた。鉄類は足元にあり、玉類、刀子2点、針の束などで、期待された武具や鏡などの副葬品は出土されず埴輪もなかった。しかし、当時すでにこれだけの築造工事が可能な実力者がこの地方にいたことが興味深い。しかも、副葬品の中に針束や装飾品が多く出土したことから被葬者は女性の可能性があるという。ヒミコのような占術を用い政り事を行っていたのだろうか。現在、この古墳は千葉県指定史跡になっている。



水神山古墳のある同じ台地のわずかに西に、高野山の鎮守、香取神社がある。近年境内の樹木の多くが伐採されたが大樹が残る森の中に本殿があり、万治から大正期までの百庚申塔が見事に社前に立ち並ぶ。今も三基の円墳が残り、この地域の歴史の奥深さが感じられる。

常総地方は平将門ゆかりの伝説が豊かであるが高野山の香取神社は天慶3年(940)将門を討ったのち、勝者の藤原秀郷が祭神に経津主命を祀ったという。沼の対岸、岩井には将門を祀る神社がある。千年を経た現在、両住民は手賀大橋完成後、交流を深めている。旧道に下りる石段脇に樹齢500年の大銀杏がそびえ立つ。

- (1) 香取神社 高野山の鎮守。祭神 経津主命 天慶3年藤原秀郷が創建。百庚申塔



発行元：NPO 法人あびこ・シニア・ライフ・ネット（通称アシラネ）

Hp：www.asln1.com

〒270-1122 我孫子市中里 335-1 JR 湖北駅北口スーパーマスタ 3F

Tel/Fax：04-7197-3308（火曜～金曜 10:00～16:00）

Mail：asln.digital.ps@gmail.com

理事長 佐々木敏夫：04-7182-5719

便利屋事業 樋口邦平：090-2254-1559

デジタル塾 塾長 山本早苗：080-5402-6049

事務局長 カラオケ/囲碁 岩崎勇：090-9855-6288

広報担当 島田祐子：090-4827-6403